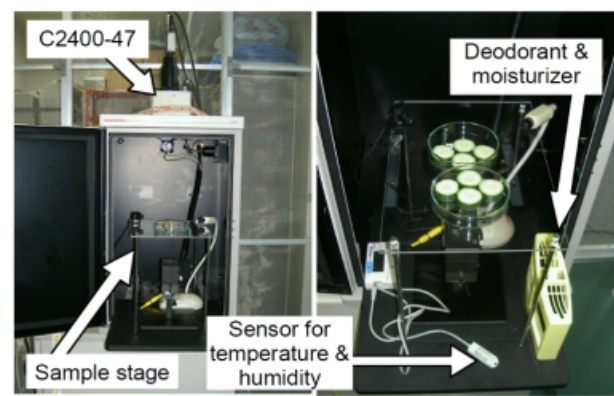
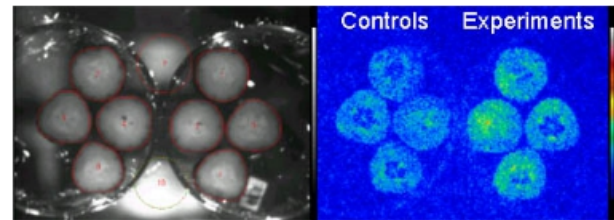


# 超能力者からの空間を伝わるパワーの実体は何なのか

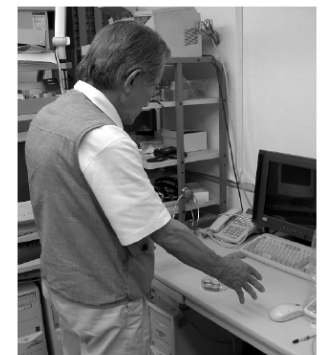


極微弱生物光計測装置

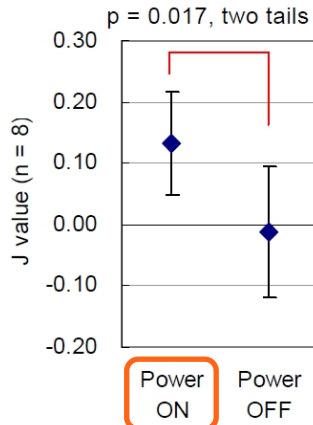


(出典:国際総合研究機構生体計測研究所)

届いたパワーを最も鋭敏に検出できる  
キュウリの発光現象を利用した計測装置



熟達したやり方（呼吸法）でパワーを出す。

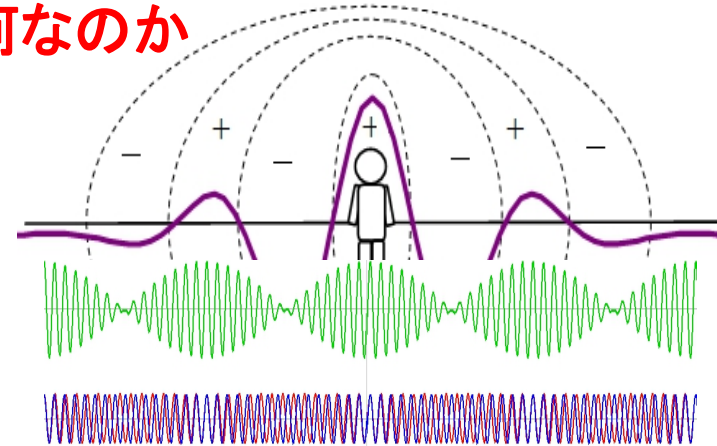
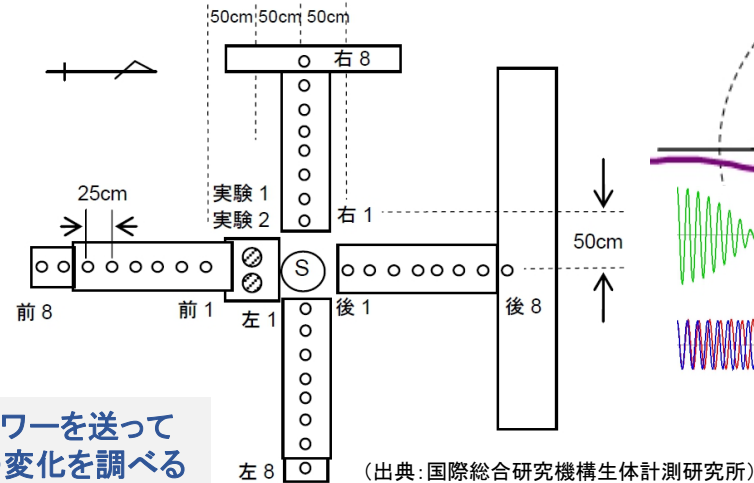


呼吸法の熟練者によるパワーの制御 小久保・山本、2007より  
熟達したヒーラーがパワーを送ると(ONにすると)キュウリが発光するため、その発光強度を数値化する(「J値」とする)



ヒーリング試行

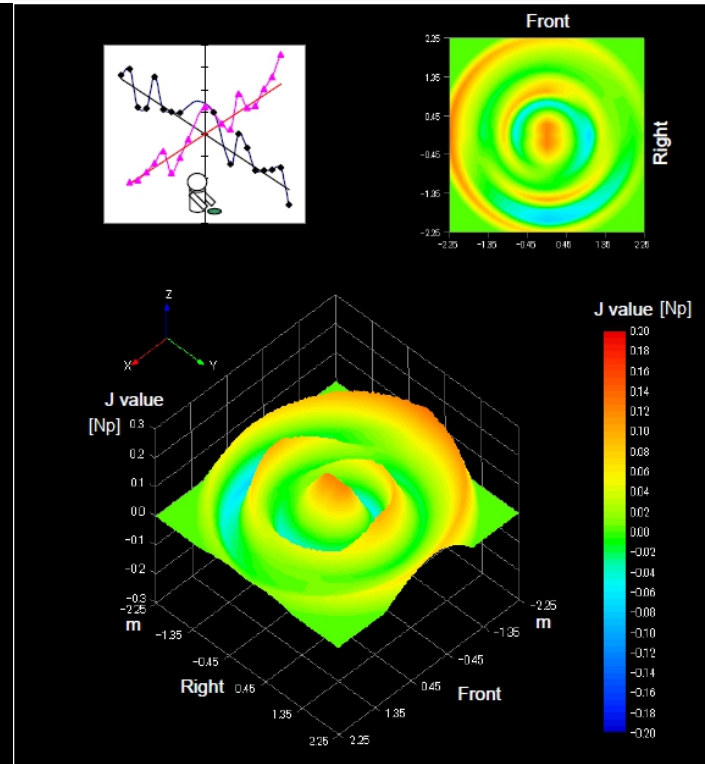
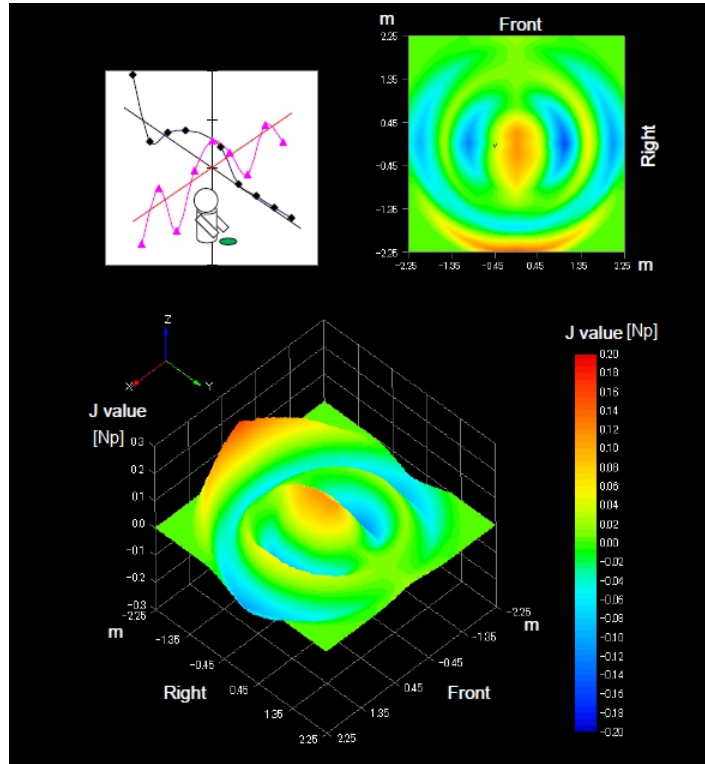
熟練度の違う複数名のヒーラーにパワーを送ってもらい、テーブルに並べたキュウリの変化を調べる



・波長は1~1.5mに相当するが、それは2種類の異なった波によって生じる「うなり」である。

達人級超能力者（2名平均）

一般公募ヒーラー（5名平均）



・2種類の波の周波数の差は、200MHz~300MHzに相当する。  
・中間を取って250MHzとすると、例えば700MHzの波と950MHzの波がヒーラーから発信されていることになる。

<作成:stnv基礎医学研究室>

